

研究課題名

1. 研究の対象

2018年1月から2020年7月の間に、初回再発卵巣癌（卵管癌、原発性腹膜癌を含む）に対してプラチナ併用化学療法後にオラパリブ維持療法が開始された方。

2. 研究目的・方法

日本人におけるオラパリブの安全性と治療効果を確認すること。日本人の再発卵巣がんの方にもオラパリブは重い副作用などなく治療できるのか（安全性）、また十分な効果があるのか（有効性）について、明らかにすることが目的です。

研究期間：倫理審査委員会承認日 ～ 2023年8月まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、問診、診察所見、画像検査（超音波・CT・MRI・PET-CTなど）、血液検査や尿検査、治療として行った手術の内容、病理診断、使用された抗がん剤の種類・量、副作用、抗がん剤の効果、予後など

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。データセンターに提供される情報に氏名は含まれません。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

新潟大学大学院医歯学総合研究科 産婦人科 榎本 隆之

新潟県立がんセンター新潟病院 婦人科 菊池 朗

ほか、婦人科悪性腫瘍研究機構 JGOG3026 参加病院

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

新潟県立がんセンター新潟病院 婦人科

当院研究責任者：菊池 朗

連絡先：新潟市中央区川岸町2丁目15番地3

TEL：025-266-5111

研究代表者：新潟大学大学院医歯学総合研究科 産婦人科 榎本 隆之